

平成 19 年度後期岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	言語情報論
専門科目 1	現代日本語学

問題 以下の各設問に答えなさい。

1. 日本語のハ行子音の音声的・音韻的特徴について論述しなさい。
2. ある日本語学習者が「ランプ」の「ラ」の子音を[l]と発音していた。この学習者に対し、どのような指導をするのが望ましいと考えるか、音声学・音韻論的観点を踏まえながら、あなたの考えを述べなさい。
3. 文は主語と述語から成るといふ文法観と述語中心主義の文法観を対照し、あなた自身の見解を示しなさい。
4. 「来ているようだ」「来ていたようだ」「来ているようだった」「来ていたようだった」という四つの述語が表す意味の違いを、アスペクト、テンス、モダリティーの観点から体系的に説明しなさい。
5. 動詞、形容詞、名詞の述語としての文法的な振る舞いの違い（あるいは、文法的なカテゴリーとのかかわり方の違い）をできるだけ多く指摘し、なぜそのような違いが生じるかについて説明しなさい。

以上